

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
6月定例会 議案等審議結果一覧	4
委員会研修報告	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



烏山中学校体育祭 2年生綱引き (5月30日)

6月定例会が6月2日(火)に招集され、6月9日(火)までの8日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は4ページに掲載しています。
*なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報那須烏山第118号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字になった項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。



中山 五男 議員

- 1 教育長の指導方針について
- 2 土地開発基金の運用について
- 3 県予算額の内、本市に係る事業費等について



渡辺 健寿 議員

- 1 ふるさと納税の実績と対応状況について
- 2 都市と農村の交流事業の拡大策について
- 3 JRR烏山駅前整備計画の進捗状況について
- 4 市長のトップセールスの現状と方針について
- 5 本市の教育方針について



滝口 貴史 議員

- 1 江川小学校の跡地利用について
- 2 他旧小学校の跡地利用について
- 3 太陽光発電所の増加とジオパーク構想の矛盾について
- 4 那須烏山フィルムコミッション設立について
- 5 スクールバスの運行について



矢板 清枝 議員

- 1 子育て支援の充実について
- 2 少子化対策について
- 3 配食サービスについて
- 4 自殺対策について



川俣 純子 議員

- 1 デマンド交通の利用者増加に伴う問題点について
- 2 防災時の放送について
- 3 選挙について



平塚 英教 議員

- 1 集団的自衛権行使容認の関連立法措置に反対を
- 2 那須烏山市ジオパーク構想について
- 3 本市内の国道294号線の今後の整備計画について
- 4 野生鳥獣類等による農作物への被害対策について
- 5 本市教育行政の取り組みについて
- 6 本市市民憲章の制定を



小堀 道和 議員

- 1 まちを活性化させる人事評価制度について



渋井 由放 議員

- 1 平成26年度那須烏山市障がい者優先調達推進方針について
- 2 一般廃棄物の収集について
- 3 PCBの保管・使用状況と処理計画について
- 4 建設発生土の利用について
- 5 敦賀市の民間処分場に搬入した焼却灰について
- 6 歴史民俗資料館について



樋山 隆四郎 議員

- 1 「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定について
- 2 教育問題について

議会の動き

平成27年4月

- 16日○文教福祉常任委員会 烏山城跡現地視察及び歴史資料館(仮称)説明会
- 25日○議会だより第36号発行

5月

- 13日○議会運営委員会 ○議員全員協議会 ○第3回臨時議会
- 26日○議会運営委員会 ○議員全員協議会

6月

- 2日○議員全員協議会 ○第4回定例会 (9日まで)
- 4日○議員全員協議会
- 5日○行財政改革調査特別委員会

- 9日○議会運営委員会 ○議会広報委員会
- 15日○文教福祉常任委員会 文化財保護審議会委員との意見交換会

26日○「那須烏山市へ(仮称)栃木県立県東部

体育館の設置を求め意見書」提出

7月

- 6日○文教福祉常任委員会 南那須特別支援学校、荒川小学校、南那須中学校視察
- 8日○議会広報委員会
- 13日○議会広報委員会

平成27年6月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。



電子黒板を活用した授業風景

中山 五男 議員

全国学力テストの結果公表について

(問) 全国学力学習状況調査が今年4月、小学6年生と中学3年生を対象に実施された。テスト結果は8月に新聞により全国都道府県ごとに科目別平均正答率を一覧表にして報道される。しかし本市ではこれまで非公開としているため、本市の成績が全国平均または県平均と比較し、いかなる位置にあるのか判断できない。本市は学力向上のために教育費を最優先としている

ことからの、学力が低いはずがない。教育長は自信を持って公表すべきでないか。
(答) 全国学力テストは各校が連携して市全体の学力向上に努力している。テスト結果公表は混乱を招く恐れがあり避けたいと考えている。公表方法は少しずつ変えているので、各校長の意見を聞く中で検討したい。
優れた教職員の確保は
(問) 市内小中学校7校で教師151名が教鞭をとっている。優れた教職員を確保する方策を伺う。
(答) 教育委員会との研修の充実や、それらに参加しやすい環境を整備することで、優秀な教職員を育成したい。

渡辺 健寿 議員

ふるさと納税の実績とその対応状況について

(問) 平成20年に都市部への税収の偏りを是正する目的や、地域間格差や過疎を背景にした税収の減少に悩む自治体への対策として、ふるさと納税制度が創設された。これまでの実績と対応について伺う。
(答) 平成20年から26年の7年間で、109件1726万円余となっており過去3カ年の件数は増加している。ふるさと応援寄付者に対し継続的に協力をお願いする取り組みとして、毎月発行している市広報の送付、寄付金の使途についての報告、5万円以上の寄付者には5千円相当の地域特産品等を贈答するなどして



ふるさと応援寄付者への記念品の一例(烏山和紙の小物)

JR烏山駅前整備計画の進捗状況について

(問) 来年度からの整備の前提として全体構想を描いた上での年次計画が必要と思う。中長期計画、構想をいつ示せるのか伺う。
(答) 短期的取り組みとして情報の発信拠点となる観光案内施設、公衆トイレ等を設置する。現在、全体構想の策定に向け、交通量調査、地形測量等を実施している。

川俣 純子 議員

デマンド交通について

(問) デマンド交通のエリアが、烏山地区は南北と共通地区に分かれているが、乗り入れや乗り越しはできないか伺う。
(答) 利用者から改善を求めるとも寄せられているので、共通区間の拡大による利便性向上に努めていく。

選挙について

(問) 有権者の年齢が18歳以上に引き下げられる。そこで、高校生には選挙事務体験をさせ、また小中学生には児童会、生徒会の選挙時に本物の選挙道具の提供をするなどできないか。
(答) 連携を図りながら啓発活動を展開すべく、烏山高校と意見交換を行った。今後、選挙管理委員会による学校での出前講座や、選挙事務体験の実施を検討していく。また、児童会、生徒会の選挙時に、実際に使用する投票用紙を提供し、本物に近い選挙を体感してもらおうと考えている。



小中学校に貸し出している投票箱と記載台

最後の2時間の投票者数は全体の約5%である。2時間繰り上げると、諸経費を約70万円削減できる。県内14市の選挙管理委員会連合会等でも取り上げられている問題なので今後検証を進め、選挙の公平、公正性の確保に留意し、投票率向上に向けて取り組んでいきたい。

滝口 貴史 議員
江川小学校・他旧小学校の跡地利用について
(問) 江川小・旧境小学校・旧興野小学校の跡地利用に際し、地元住民の合意形成は図られるか。
(答) 3校については、事業用地等の情報提供制度に登録し、また、廃校プロジェクトへの参加も検討していくことになる。民間企業に売却するにしても、地元の皆さん方に説明し、合意を得ることが第一と考える。



旧興野小学校

スクールバスの運行について

(問) 土曜・日曜・休日・長期休業中の部活動バスの運行についてどのような検討をされたか伺う。
(答) 休日等における定期的なスクールバス運行は、部活動のある中学校2校が対象となる。その運行については、南那須、烏山の両中学校と協議を進め、生徒の登下校時の安全を考慮し、ほとんどの部活動が行われる土曜日において6月から運行することとした。なお、長期休業中については、南那須中でも烏山中

にならない春休み、夏休み、冬休みの部活動の活動状況に応じ、スクールバスを運行する。
今後児童生徒の安全性を第一に考慮し、運行していく。

矢板 清枝 議員

子育て支援について

(問) 妊娠中の体の変化や産後の赤ちゃんの食事や病気のことなど、お母さんがその時々で必要な情報や子育ての手助けができる配信システムの導入について伺う。
(答) 相談事業や情報提供の充実に向けているが、配信システムについても、先進事例等を調査研究して、関係機関との連携により導入について検討していきたいと考えている。

(問) 新生児誕生に際しおむつ券を発行できないか。
(答) おむつ券配布は子育て支援における一方策と考えられる。先進事例を見ると、金券による乳幼児品の助成や子育て支援の経済的支援と消費拡大による経済効果を図るために、地域が一体となって子育てをする支援制度などがある。本年度策定を予定している総合戦略の中で検討していく。
自殺対策について
(問) 市のホームページに、心の健康チェックができる「こころの体温計」を掲載できないか伺う。
(答) 厚生労働省のホームページに「こころの耳」という、同様のものがある。すぐ使えるように、市の

ホームページにその項目を設け、リンクできるように早急に対応したい。

平塚 英教 議員

集団的自衛権行使容認の関連立法措置に反対を

(問) 安倍政権は集団的自衛権の行使容認を可能とする関連法案成立を進めている。その中身は日本に対して武力攻撃がなくても、とさきの政権の判断で集団的自衛権を発動し、同盟国の戦争に自衛隊が「戦闘地域」まで行つて軍事支援する内容であり、日本を「海外で戦争する国」に変える暴挙である。これは戦争放棄の平和憲法を破壊する「戦争立法」であり、戦後の平和国家日本の歩みを覆す暴挙であり、廃案にする以外にない。日本は平和憲法を生かし国際紛争は外交努力と平和的手段で解決すべきと考えているが、市長の見解を伺う。
(答) 日本国憲法の三大要素は国民主権、基本的人権の尊重、平和主義である。まさに日本国憲法は戦争を放棄した世界に誇れる平和憲法であり、日本が戦後70年間戦争のない平和な国として続いた原点でもある。私は今後も将来にわたって恒久平和と安全が保たれることを望んでおり、国際紛争は平和憲法の趣旨に沿って外交努力と平和的手段による解決を望んでいる。集団的自衛権関連法案は国家安全保障の重大案件であり、我が国家安全保障政策の大きな転換なのでさら

に徹底した議論を展開して
いただきたいと思います。

小堀道和議員

まちを活性化させる人事評価制度について

(問) 来年度導入予定の人事評価制度を本市の活性化に寄与する制度にしたい。そのためには市の総合計画を具現化するための個々人の目標値や方策である要因系の目標値重視の業務計画を評価もセットにして立案し取り組むことが必要不可欠と考えるが見解を伺う。

(答) 市の総合計画の目標達成のために職員が目標値や成果指標を掲げた目標管理を自ら定め、上司と進捗状況を話し合いながら職員自らの提案による業務改善を進めることで成果と意欲を向上させる制度にしたい。

(問) 仕事の意義は言われたことをやるだけでなく、市民のさらなる満足度向上のための創意工夫を取り入れて努力することにある。この努力を評価することが真の人事評価制度であり、業務の進み具合を評価するものではない。そうすることで上司と部下がオープンに話し合え、ともに制度の素晴らしさを実感する仕組みになると考えるが見解を伺う。

(答) 目標管理制度は単なる進捗管理でなく創意工夫、政策形成を盛り込んだものにして市の総合計画実現のため上司と部下で充実した取り組みができる制度にしたいので協力を願いたい。

渋井由放議員

平成26年度障がい者優先調達推進方針について

(問) 平成26年度の目標額は1511万円であったが、結果は114万弱で達成率は75.5%であった。それを踏まえて、平成27年度の調達方針はどのようになっているのかを伺う。

(答) 実績は保育園等のおやつ用菓子パン、石けんや清掃作業等である。平成27年度も、障害者就労施設等の物品等に対する需要の増進を図り、障害者就労施設で就労する障がい者や在宅就労障がい者等の自立を促進できるよう、庁内各課に通知し、市ホームページに掲載した。



作業所で作られたパンを食べる保育園児

(問) 平成26年度の目標を実績が大きく下まわった原因は何であったか。

(答) 公文書のシュレッダー業務を例年受注していた施設から、平成26年は業務ができないとの申し出があり、その分が減ったことが大きな要因である。

(問) 平成27年度の計画に機密文書裁断等となっていないが、これは行わないのか。

(答) 現在のところそう考えている。

(問) 多分これは平成26年

度の計画をコピーして、数字だけ入れ変えただけだと思ふ。このようなやり方は問題がある。障がい者の皆さんのためにしっかりと取り組んでいただきたい。

樋山隆四郎議員

人口問題について

(問) 国立社会保障・人口問題研究所によると、本市は40年後に人口約1万3千人に減少すると推定される。本市によるまち・ひと・しごと創生総合戦略と人口ビジョンについてどのような策定を行うのか伺う。

(答) 昨年11月28日に、まち・ひと・しごと創生法が制定された。国地方が一体となって中長期的な視点に立つて取り組む必要がある。そのため国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案しながら、人口ビジョンと地方版総合戦略の策定に努めなければならない。

4月22日に那須烏山市創生本部において策定方針が決定した。重点検討項目として、地方における安定した雇用を創出する。地方への新しい人の流れをつくる。若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する。この4つの目標を基本として策定を進めている。

人口ビジョンについては本市の人口現状、分析及び将来の展望について、国の情報等に基づき策定を進めている。

主な質疑

6月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。
会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

税条例の一部改正について

議員 マイナンバー制度の導入に際し、情報流失等セキュリティ関係の対策はされているのか。

答弁 10月の個人番号の付与開始まで残り短期間ではあるが、国、県と十分連絡調整を図り、ウィルス対策等さらなる万全な対応を行う。

議員 本制度導入による効果について伺う。

答弁 個人番号は社会保障と税と災害対策にのみ利用する。税については所得隠しなどが防げられる。社会保障関係では説明文書等の確認がワンストップで対応でき、市民にとっても有益な制度である。

平成27年度補正予算について

議員 旧水道庁舎等の解体で800万円余が計上されている。旧法務局や旧水道庁舎の水防倉庫も更地にするといいことだが経過について伺う。

答弁 旧水道庁舎と旧法務局跡地を合わせると約1700平方メートルであり、解体することにより那須南病院の駐車場として60台分のスペースが確保できる見込みである。平成28年度中には活用できる予定である。

議員 那須南病院から烏山高校への県道改修については、駐車場整備に合わせて実施予定であったが今回見送ることになった。

しかし、生徒の安全や一般市民のため、また烏山城の観光のためにも県道整備は実施すべきと考えるがどうか。

答弁 地元自治会からも関連の要望が出ている。実現に向け関係機関等と調整したい。

議員 臨時福祉給付金事業4267万円及び子育て世帯臨時特例給付金事業1081万円の対象者と給付時期及び臨時給付の主旨を伺う。

答弁 どちらの臨時給付金事業も消費税率アップに伴う負担軽減措置である。臨時福祉給付金

は対象者が約6千名で1人当たり6千円、9月1日から12月1日の受付期間である。子育て世帯臨時特例給付金は対象が0歳から15歳で約3千名、1人当たり3千円、6月14日から10月1日の受付期間である。

議員 学校管理費の260万円が烏山中施設整備費だが、先日の体育祭ではものすごい砂ぼこりであった。どのような工事を行ったのか。また今後どのような対応をするのか。

答弁 校庭は暗渠排水構造であるが、目詰まりが生じたため掘って土砂を入れ直した。砂ぼこりは表面に化粧砂をまいて固めたが砂が足りなかった。今回は現場を見ながら2回に分けて対応したい。

江川小学校改修工事(建築工事)請負契約の締結について

議員 提案された改修工事の落札価格と落札率及び工期について伺う。また建築資材の高騰の影響はなかったのか。

答弁 税抜きで2億2140万円、落札率98.5%、工期は平成28年1月末までである。資材高騰



改修中の旧下江川中学校体育館

議員 体育館の改修工事も入っており、小学生用に直すだけなのか。せっかく改修するのでアリーナ席を設けられないのか。またバリアフリー化の対応を伺う。

答弁 屋根の防水工事や外壁工事、内部についても舞台や帳帳新調、床面を削り取る工事等大規模改修工事であるが、アリーナ席は予定していない。

バリアフリーは子ども用トイレの洋式化など対応しているがエレベーターはつけていない。

議員 給食センター工事の際に契約金額内で工事ができないというトラブルが発生したので、今回はしっかりと業者にも念押しして実施すべきである。

答弁 設計書の内容等を精査して発注しており、そのようなことはないと考えている。



那須南病院から烏山高校への県道

6月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等		審議結果	議案等		審議結果
議案第10号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決	議案第9号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第4号	情報公開条例及び個人情報保護条例の一部改正について	可決	議案第1号	平成27年度一般会計補正予算(第1号)について	可決
議案第5号	税条例の一部改正について	可決	議案第2号	平成27年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第6号	国民健康保険税条例の一部改正について	可決	議案第3号	平成27年度水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
議案第7号	手数料条例の一部改正について	可決	議案第11号	江川小学校改修工事(建築工事)請負契約の締結について	可決
議案第8号	介護保険条例の一部改正について	可決			

6月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
6月2日(火)	開会・上程・採決・付託	3人
6月3日(水)	一般質問	14人
6月4日(木)	一般質問	12人
6月5日(金)	一般質問	14人
6月9日(火)	上程・報告・採決・閉会	11人
計		54人

6月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
請願書第1号	廃棄物処理施設設置等事業計画に反対する請願書	小森幸雄 田島信二 滝口貴史	採択
陳情書第2号	「国の責任による35人以下学級の前進」をもとめる陳情	なし	継続審査
陳情書第3号	国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立をもとめる陳情	なし	不採択
陳情書第4号	特別支援学校の「設置基準」策定を国に求める陳情	なし	継続審査
陳情書第5号	「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情	なし	不採択
陳情書第6号	年金積立金の安全かつ確実な運用を求める陳情書	なし	採択



烏山城跡常磐曲輪石垣前にて

②烏山城跡について
烏山城は応永24年(1417年)那須氏一族の沢村五郎資重によって築城されたといわれています。戦国末から江戸中期においては、頻りに城主の交代が行われ、享保10年(1725年)譜代大名の大久保常春が、

文教福祉常任委員会

研修報告

文教福祉常任委員会は、4月16日、市内2ヶ所の調査を実施し、6月15日には文化財保護審議会委員の皆様と意見交換会を持たせていただき、市内の歴史文化財等に対して、有るべき姿を想定しつつ貴重な意見を共有することができました。

①郷土資料館について

県博物館協会の資料によれば、合併後県内25の市町に82の博物館・美術館・郷土資料館が実存・共存・競合しております。懸案の歴史資料館建設について、場所、時期、規模、完成後入館状況、運営費等財政状況は厳しく、さらに議論を深める必要があります。

幕府の中心人物であった

大久保常春侯が烏山城の殿様であったことを誇りに、大いにPRし、町おこし、ふるさと創生に活かすべきかと、報告させていただきました。

委員長 沼田 邦彦

議会を傍聴してみませんか



議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

9月定例議会は、9月1日(火)開会予定です。

※正式な日程は8月25日に開催される議会運営委員会で決定されます。

意見書提出

6月定例会での決定を受け「年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書」を関係行政庁へ、「那須烏山市へ(仮称)栃木県立県東部体育館の設置を求める意見書」を栃木県知事あてへそれぞれ提出しました。



福田富一知事に意見書を手渡す市議会議員

5月臨時会

5月13日(水)に招集され、提出された議案等をすべて全会一致で可決、承認しました。

あしがき

那須烏山にも祭囃子が聞こえる季節がやってきました。夏祭は疫病除けの為、ご祭神・素戔嗚尊(スサノヲノミコト)が祀られているお社で行われます。県内では八坂神社や須賀神社、他には水川神社、津嶋神社等が素戔嗚尊をお祀りしております。この地では八雲神社が1560年に疫病排除、天下泰平祈願のため大桶村の牛頭天王社より勧請されました。その付け祭りが現在の山あげ祭であり全国にも類をみない祭りでもあります。次年度にはユネスコの文化遺産に「山、鉾、屋台」の括りで、有名な飛騨高山祭、京都祇園祭などとともに登録の予定であります。また、本年は大東亜太平洋)戦争が終結して70年の節目の年であります。この戦争を知っている世代も少なくなりました。だからこそ今、しっかりととした正しい歴史の1ページとなるよう我が子々孫々まで語り継いでいかなければなりません。8月15日、是非この場所からでもいいです。から、先人に手を合わせていただきたいと思います。(滝口貴史議員)